

ネイチャーセンター ガイド (85)

センターは今年で13年目を迎えました。人にも歴史がありますように、建物にも歴史があります。人はどれだけ長い時を生きたくてではなく、どのように生きたか？が大切ではないかこの年になって気づかされています。建物には、いろんな傷や染みがついています。その傷や染みは人の心の中の記憶を呼び起こしてくれる大切な「資料」となりうるのではないのでしょうか？

人はみな、新しいものについつい目を向けがちですが、ふと我に返る時を求めているに違いありません。これが癒しというブームそして代名詞に置き換えられているのでしょうか。人は常に人間としての原点に還ることを、本能的に組み込まれているのでしょうか？

●宝の山ふれあいの里スタッフ募集

活動テーマ：大人の本気を見せてやる

指導スタイル：本気であそぶ

業務目標：地域のためにできること・・・

お客様にできること・・・

年間を通じて、自然体験活動指導や博物館運営業務に携わっていただくスタッフを募集しています。

自然体験活動については、市内外の子どもたちとふれあい、森の中で子どもたちの心を育む活動を提供しています。活動内容は様々ですが、子どもたちとのふれあいの中から、いろんなことを感じてください。

博物館運営業務につきましては、各部門別に募集をいたします。皆さんがお持ちの専門技術を発揮し、こ



れから磨いていきたい技術を共に勉強していきます。(資料収集整理、映像・写真編集整理、標本整理、調査、森づくり、学生スタッフ育成、観察スタイルの新開発など)

募集人員：20人

申込期限：3月31日(木)

*交通費(送迎なし)および食事代の支給

年齢：満20歳から満60歳まで

特典：自然系博物館での活動ノウハウと自然体験活動を専門スタッフより技術を学ぶことができます。

●夏のご予約・ご相談受付中！！

コテージへ、グリーンロッジへ宿泊したい。自然体験が体感したい。こんなイベントをしてほしいなどなど様々なご相談を受け付けております。学童保育や総合的な学習の時間、森づくりなどの年間指導(単発活動も可)や指導案づくりもサポートしています。また、育成会事業や塾、スポーツ団体などへの体験活動も提供し、子どもたちのために地域が、大人ができることを合言葉に活動を積極的に推進しています。

来館、お電話をお待ちしています。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター

開館時間：午前9時から午後4時まで

休館日：月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

花粉症について

今春は、全国的に昨年の三十倍の花粉量が予想され、花粉症の方は重症化が、花粉症でなかった方も発症する可能性があります。もし、花粉症の症状がでた場合は、花粉症だろうと自己判断をして重大な病気を見逃しては大変です。何の原因であるかをきちんと調べるのが大切です。

花粉症の予防には、花粉の曝露を防ぐ方法と薬物による方法があります。

《外出時の対策》

- めがね、マスク、帽子の着用
- 衣服を払ってから入室
- うがいと手洗いを忘れずに
- 花粉情報を確認し外出を

《家庭内の対策》

- 洗濯物を外に干さない
- 布団はたたいて掃除機を
- 窓は開けない
- ぬれぞうきんでふき掃除を

その他、花粉症を悪化させる原因には、タバコやストーブなどの燃焼による空気の汚染の影響があり、室内環境をきれいに保ちましょう。

花粉症は症状がひどいと、日常生活にも影響しますので、早めの対応に心がけましょう。

小児慢性特定疾患治療研究事業
制度変更のお知らせ！

この事業は、長期にわたり療養を必要とする慢性的な病気に対し、その治療方法の研究と患者さんの医療費の軽減を図るものです。平成十七年四月一日より、国の制度見直しに伴い、次のとおり変更となります。

【変更のポイント】

- ◇対象疾患の見直し
- ◇所得に応じて、一部負担金が生じる場合があります。
- ◇全疾患、入院・通院が可能
- ◇全疾患二十歳まで延長可能等

【手続き】

- ◇必要書類を提出し、山梨県小児慢性特定疾患対策協議会で協議・決定されます。
- ◇既に受給されている方につきましては、申請手続きが必要ですが、必要書類は、通知いたします。

◇手続き

新規 随時
更新(既に受給されている方)
平成十七年二月～三月八日
までに提出。

問合せ先

健康支援課 ☎(22)7827